



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社 セック  
 コード番号 3741 URL <https://www.sec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻井 伸太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 寿顕

TEL 03-5491-4770

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,890	5.4	397	20.7	432	20.5	302	20.3
2019年3月期第2四半期	2,743	19.9	329	60.1	358	62.3	251	82.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	59.10	—
2019年3月期第2四半期	49.13	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,846	5,856	85.5
2019年3月期	7,041	5,793	82.3

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 5,856百万円 2019年3月期 5,793百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	3.7	920	11.7	990	11.3	680	10.8	132.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	5,120,000 株	2019年3月期	5,120,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	722 株	2019年3月期	722 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	5,119,278 株	2019年3月期2Q	5,119,325 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで本日開示いたします。

また、当社は2019年11月26日(火)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、前年同月比の月別売上高は、2018年10月以降、11ヶ月連続で増加しており、IT需要は全体的には概ね堅調と推察されます。当社事業分野では、移動体通信事業者向けのサービス系の開発が減少したものの、官公庁案件をはじめとした社会公共分野の開発案件が増加したことに加え、ロボットの研究開発案件や宇宙天文分野の開発案件が増加し、全体的には好調でした。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す」を実践し増収増益となりました。

ビジネスフィールド(以下、ビジネスフィールドをBFと省略)別には、モバイルネットワークBFは、移動体通信事業者向けのサービス系の開発が減少し、売上高は632百万円(前年同期比24.4%減)となりました。インターネットBFは、民間企業向けの複数の大型案件の開発が引き続き堅調で、売上高は569百万円(同4.2%増)となりました。社会基盤システムBFは、医療分野や放送分野が減少したものの、官公庁案件や交通系のモバイル決済関連の開発が増加し、売上高は791百万円(同12.5%増)となりました。宇宙先端システムBFは、車両自動走行を含めたロボットの研究開発案件が堅調であったことに加え、気象を中心とした宇宙天文分野の開発案件が増加し、売上高は896百万円(同36.7%増)となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、モバイルネットワーク、インターネットが低下し、宇宙先端システム、社会基盤システムが上昇しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,890百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益397百万円(同20.7%増)、経常利益432百万円(同20.5%増)、四半期純利益302百万円(同20.3%増)となりました。

## ビジネスフィールド(BF)別売上高

ビジネスフィールド	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	836,961	30.5	632,460	21.9
インターネット	546,641	19.9	569,603	19.7
社会基盤システム	703,434	25.7	791,683	27.4
宇宙先端システム	656,210	23.9	896,756	31.0
計	2,743,248	100.0	2,890,503	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## ビジネスフィールド(BF)別受注状況

ビジネスフィールド	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
モバイルネットワーク	643,205	77.0	335,057	90.2
インターネット	635,716	104.2	339,534	114.6
社会基盤システム	881,623	108.5	1,179,648	148.6
宇宙先端システム	1,228,252	166.1	684,915	170.4
計	3,388,798	113.1	2,539,156	136.2

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ195百万円減少し、6,846百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加494百万円・受取手形及び売掛金の減少658百万円・有価証券の増加200百万円などによる流動資産の増加22百万円、投資その他の資産の減少207百万円などによる固定資産の減少218百万円によるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ258百万円減少し、989百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少66百万円・買掛金の減少41百万円・賞与引当金の減少39百万円などによる流動負債の減少228百万円によるものであります。

(純資産)

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少などの結果、前事業年度末に比べ62百万円増加し、5,856百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の82.3%から85.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ494百万円増加して、四半期末残高は3,193百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は749百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益432百万円及び売上債権の減少672百万円による増加、法人税等の支払額164百万円による減少によるものであります。前年同期と比較して214百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果支出した資金は9百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3百万円、無形固定資産の取得による支出3百万円によるものであります。前年同期と比較して108百万円の支出減となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果支出した資金は244百万円となりました。これは、配当金の支払い244百万円によるものであります。前年同期と比較して9百万円の支出増となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年10月28日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,698,635	3,193,514
受取手形及び売掛金	2,522,035	1,863,649
有価証券	—	200,000
その他	83,755	69,878
流動資産合計	5,304,426	5,327,042
固定資産		
有形固定資産	55,489	50,352
無形固定資産	11,150	6,051
投資その他の資産		
投資有価証券	898,507	708,001
その他	772,260	754,787
投資その他の資産合計	1,670,767	1,462,788
固定資産合計	1,737,408	1,519,193
資産合計	7,041,834	6,846,235
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	316,599	274,718
短期借入金	36,000	36,000
未払法人税等	188,053	121,304
賞与引当金	280,000	241,000
役員賞与引当金	27,500	—
その他	277,871	224,083
流動負債合計	1,126,024	897,106
固定負債		
役員退職慰労引当金	107,959	76,917
資産除去債務	13,925	14,018
その他	—	1,656
固定負債合計	121,884	92,592
負債合計	1,247,909	989,698
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	4,708,865	4,765,699
自己株式	△908	△908
株主資本合計	5,772,598	5,829,432
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,326	27,103
評価・換算差額等合計	21,326	27,103
純資産合計	5,793,924	5,856,536
負債純資産合計	7,041,834	6,846,235

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,743,248	2,890,503
売上原価	1,986,038	2,053,939
売上総利益	757,209	836,563
販売費及び一般管理費	428,083	439,293
営業利益	329,126	397,270
営業外収益		
受取利息	2,699	2,789
受取配当金	718	981
不動産賃貸料	2,010	2,039
補助金収入	11,083	11,990
受取出向料	13,628	17,662
その他	766	840
営業外収益合計	30,906	36,304
営業外費用		
支払利息	339	338
不動産賃貸費用	738	738
その他	14	—
営業外費用合計	1,091	1,077
経常利益	358,940	432,497
税引前四半期純利益	358,940	432,497
法人税、住民税及び事業税	85,655	99,458
法人税等調整額	21,777	30,479
法人税等合計	107,433	129,937
四半期純利益	251,507	302,559

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	358,940	432,497
減価償却費	9,702	15,478
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,000	△39,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,620	△27,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,125	△31,042
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△9,370	△10,235
受取利息及び受取配当金	△3,418	△3,771
支払利息	339	338
売上債権の増減額 (△は増加)	424,269	672,237
未収入金の増減額 (△は増加)	23,820	10,367
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,046	△41,881
未払金の増減額 (△は減少)	△87,531	△28,403
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△819	△27,785
その他	△9,045	△10,694
小計	677,437	910,605
利息及び配当金の受取額	3,296	3,760
利息の支払額	△343	△341
法人税等の支払額	△145,798	△164,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	534,592	749,440
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,493	△3,336
無形固定資産の取得による支出	△5,622	△3,271
投資有価証券の取得による支出	△101,019	△1,166
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,185
敷金及び保証金の回収による収入	1,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,134	△9,959
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	150,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
配当金の支払額	△234,967	△244,599
自己株式の取得による支出	△275	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235,242	△244,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	181,219	494,879
現金及び現金同等物の期首残高	2,668,999	2,698,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,850,219	3,193,514

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。